

【会場】

◆ 因島水軍城会場

2021年7月9日(金)～8月25日(水) 木曜休館

住所 〒722-2211 尾道市因島中庄町 3228-2
問合せ 0845-24-0936
料金 大人 330円 中学生以下 160円

◆ 今治市村上海賊ミュージアム会場

2021年9月4日(土)～10月3日(日)
月曜休館(9月20日(月・祝)は開館し、21日(火)休館)

住所 〒794-2203 今治市宮窪町宮窪 1285 番地
問合せ 0897-74-1065
料金 企画展無料
(常設展示観覧有料 大人 310円、
高校生以下無料ほか)

◆ おのみち歴史博物館会場

2021年10月9日(土)～11月28日(日) 火曜休館

住所 〒722-0045 尾道市久保一丁目 14-1
問合せ 0848-37-6555
料金 大人 210円 中学生以下無料

塩の莊園 村上海賊と

令和3年
2021
日本遺産村上海賊
今治・尾道巡回展



JAPAN HERITAGE
日本遺産



NIHONISAN



MURAKAMI KAIZOKU

【主催】村上海賊魅力発信推進協議会

【特別協力】上島町教育委員会・愛媛大学法文学部考古学研究室

※新型コロナウイルスの感染状況に応じて、会期および展示内容が変更になる場合があります。

あらかじめご了承ください。詳細は各館ホームページをご覧ください。お電話にてお問合せください。

背景写真：因島 弓削島周辺(上島町教育委員会提供) 中央：猩々陣羽織(今治市村上海賊ミュージアム提供)

心ころろ尾道

C O C O R + N O M I C H I



村上海賊と塩の莊園

日本遺産村上海賊 今治・尾道巡回展

【開催趣旨】

ルイス・フロイスから「日本最大の海賊」と呼ばれた村上海賊のストーリーが平成 28 年 4 月に文化庁の日本遺産に認定されました。同年から各地の海賊やのちに水軍と呼ばれた海の勢力との比較研究を行い、その成果を今治・尾道巡回展として公開してきました。

今年度は、NHK『ブラタモリ』で1月に放送された「しまなみ海道～瀬戸内の覇者村上海賊はなぜ生まれた？～」でも取り上げられた「村上海賊と「塩」および「塩の莊園」の関係」について巡回展を企画しました。能島村上氏の史料的初見である古文書や莊園時代の遺物、海賊衆の警固や押領を示す古文書など、史料上に姿を現した頃の村上海賊と塩の莊園（弓削荘、因島荘）に関わる写真や資料を展示します。

【展示構成】 ※会場によって変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください

1. 芸予諸島の塩づくり—村上海賊前史—

- ・満越遺跡（尾道市）、大浜広島遺跡（同因島）で出土した製塩土器（尾道市教育委員会蔵）
- ・岩ヶ峯古墳（今治市伯方島）に副葬された製塩土器（今治市教育委員会蔵）
- ・佐島の宮ノ浦遺跡から出土した古墳時代の製塩土器と莊園時代の土器や陶磁器（上島町教育委員会蔵）



満越遺跡製塩土器
(尾道市教育委員会蔵)

2. 「塩の莊園」と村上海賊

①因島荘

- ・因島荘関連文書（国宝『東寺百合文書』WEB から）写真パネル展示
- ・因島での塩生産などに関する古文書（国重要文化財『浄土寺文書』）写真パネル展示

②弓削島荘

- ・弓削島の遺跡から出土した莊園時代の土器など（上島町教育委員会蔵）
- ・領家・地頭相分絵図（国宝『東寺百合文書』WEB から）写真パネル展示

③塩の運搬

- ・弓削島の年貢の送り状（国宝『東寺百合文書』WEB から）写真パネル展示

④南北の交流

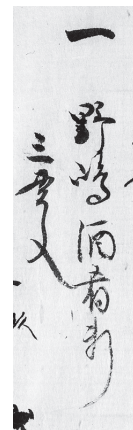
- ・岩城島祥雲寺と同范の尾道遺跡出土の瓦（尾道市教育委員会蔵）

⑤村上海賊の台頭と莊園の解体

- ・「野島酒肴料」ほか村上氏関連主要文書（国宝『東寺百合文書』WEB から）写真パネル展示
- ・村上海賊の遺跡から出土した土器や陶磁器（今治市村上海賊ミュージアム蔵）

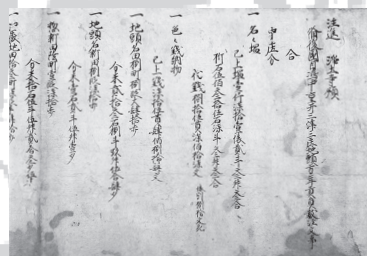
3. 近世・近代へ

- ・今治・尾道にあった塩田の古写真 写真パネル展示
- ・塩づくりに使用した道具（民具）



『野島酒肴料三貫文』の文字
(京都府立京都学・歴史館
国宝『東寺百合文書』WEB
から、部分)

「この文が意味する
ことは？」



国重要文化財『浄土寺文書』
因島での塩生産を示す史料
(浄土寺蔵：尾道市提供)



尾道遺跡出土瓦
(尾道市教育委員会蔵)